

核兵器禁止条約第2回締約国会議
松井平和首長会議会長（広島市長）スピーチ
米国・ニューヨーク市
2023年11月29日

核兵器のない世界の実現に向けて尽力されている皆様が集うこの会議において、平和首長会議を代表して発言する機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。

平和首長会議の40年以上にわたる核兵器のない世界に向けての取組は、加盟都市数が8,300を超えるまでに発展してきました。しかし、ロシアによるウクライナ侵攻に終わりが見えず、核兵器を用いた威嚇が幾度となく繰り返されている中で、世界は重大な局面を迎えています。また、非核保有国と核保有国との間の不信感が高まっているという現実、「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という被爆者の切なる願いを根底から打ち消しかねない事態ともなっています。こうした中、市民の安心・安全な生活を守る責任を担う世界中の首長は、核兵器不拡散条約第6条が規定する核軍縮の誠実交渉義務が遵守されていないことを深く憂慮しています。今、私たちが手にした核兵器禁止条約をより実効性のあるものにすることがますます重要になっています。

ここに平和首長会議は、各国が核兵器不拡散条約と核兵器禁止条約がともに核兵器のない世界に向けて補完関係を保ちながら機能していくようにするための取組を進めることを強く求めます。そして、その取組を下支えするために市民の平和意識を醸成し、あらゆる暴力を否定する「平和文化」の振興に邁進します。各国政府代表の皆様には、世界の市民と核兵器のない世界の実現という壮大な目標を共有し、具体的な行動をもって達成に向けた歩みを共に進めていただけるよう、心より期待いたします。